

発展的な学習 映画の中に時代の表情を探る

映画は、わたしたちを楽しませてくれる娯楽で、内容の多くはフィクションですが、そこには、歴史上の出来事を選材にしたものもあります。また、制作された時代の社会や政治の現実が、意識的に、あるいは無意識的に織り込まれていて、その時代と出会うことができます。



○ジュンと弟のタカユキ

【キューボラのある街】(1962・昭和37年 日活)
キューボラは、鋳物工場の屋根についている煙突のことです。舞台の埼玉県川口市は、古くから鋳物業で知られ、中小の鋳物工場が集まっていて、町じゅうにこの煙突がありました。

中学校3年生のジュンは、川口の鋳物職人の長女です。父親は、鋳物工場に勤めていましたが、けがをして後遺症が残っていたこともあって、退職しました。その後も、失業つづきのため、修学旅行も市の補助で、やっと参加できようかという状態です。ジュンの志望校は県立第一で、高校の校庭をうらやましうにのぞくジュンのすがたには痛々しいものがあります。

高校への進学率は、1963(昭和38)年にやっと60%に達したばかりでした。川口市には、1960年ころには約2600の中小工場がありましたが、いまでは、鋳物工場の煙がたなびく町の風景は見られません。この映画を通して、昭和30年代の、日本に出会うことができます。

月 日	こ と が ら
2月11日	初の人工衛星「おおすみ」の打ち上げに成功する
3月14日	日本万国博覧会開会式がおこなわれる
3月31日	日航機「よど号」がハイジャックされる
3月12日	瀬戸内海でシージャックがおきる
6月22日	日米安全保障条約を自動延長する声明が出される
7月14日	日本の呼称を「にっぽん」に統一する
7月22日	群馬県田子の湖のヘドロで市民団体が告発する
8月2日	日曜日の日曜省天国が実施される
11月25日	三島由紀夫が市ヶ谷の自衛隊で刺殺を受け、自殺をする

○1970年のおもなできごと

【家 族】(1970・昭和45年 松竹大船)

高度経済成長のあった中、しかしバブル期の豊かさには、まだ遠い時代、それが1970(昭和45)年です。長野県の伊王島から、旋転夫の一家が、会社の倒産を機に、北海道の根釧原野へと移り住む。妻と祖父、二人の子どもが、日本列島3000kmを北上するロードムービーとなっています。瀬戸内のコンビナート、大阪万国博、上野駅、北海道、画面上に、この年の日本列島が、人々の表情とともに切り取られているのです。1970年の断片を、いくつも探し出すことができます。



○水島工業地帯(岡山県瀬戸市)のコンビナート



○「となりのトトロ」の舞台(埼玉県所沢市)

【となりのトトロ】(1988・昭和63年)

【平成ためき合戦ぼんぼこ】(1994・平成6年)

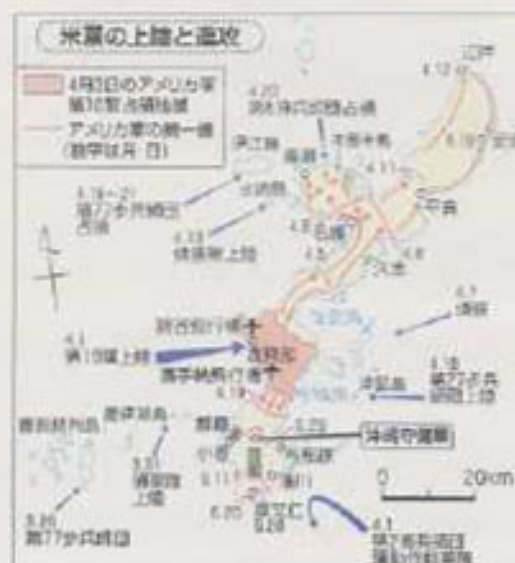
【耳をすませば】(1995・平成7年)

「となりのトトロ」は、多摩から所沢にかけての東京郊外が舞台。引っ越しのオート三輪、通くの手車を走る電車の音、木造二階建ての小学校、そのどれも高度経済成長以前の風景を思わせます。

トトロのすぐ後で、日本は高度経済成長を迎え、東京都は居住予定人口31万人の多摩ニュータウン構想をうちあげました。1967(昭和42)年のことです。「平成ためき合戦ぼんぼこ」は、この時代をえがいています。多摩町は、農村の面影を残す人口3万人あまりの静かな田園地帯だったのです。

そして、造成されたニュータウン、聖蹟桜ヶ丘を舞台にして中学3年生の少女・雫の物語が、「耳をすませば」です。路地や、町のせまい道路、坂、都下の団地のようなすが網密にえがかれています。

これらの映画から、戦後日本の生活と風景、人々の表情の移り変わりをみることができます。



【ひめゆりの塔】(1995・平成7年 東宝)

1945(昭和20)年3月24日から、沖縄前線学校の女子部の生徒120人、県立第一高等女学校の生徒98人は、看護婦として、負傷兵の手当にあたりました。戦いが激しくなると、4、5人ずつで100人から150人もの患者を受け持ち、食事の世話、大小便の始末や死体を埋めることまで手伝いました。ところが、アメリカ軍が近づいたので、5月24日、直島の地下壕につくった病院から、負傷兵とともに南に逃げようとして、途中の摩文仁丘近くにある自然の地下壕にひそみ、看護をつづけました。しかし、ここもまもなく、アメリカ軍に攻撃されました。6月15日、ひめゆり学徒隊は、第一外科壕と第三外科壕にわかれまして。そして6月19日、ひめゆり部隊の解散するを迎えました。石川姉妹の姉は、この事実を伝えるために壕を出て行くよう妹を説得します。

ひめゆり学徒隊として動員された女性とのほとんどが、壕で、集団自決で亡くなり、生き残ったのは十数人でした。この女性とたちを記念する碑が1946(昭和21)年に建てられ、悲劇的な沖縄戦の象徴となっています。ひめゆりの塔がある場所の地下部分が第三外科壕です。

「ひめゆりの塔」は、何度か映画化されてきました。